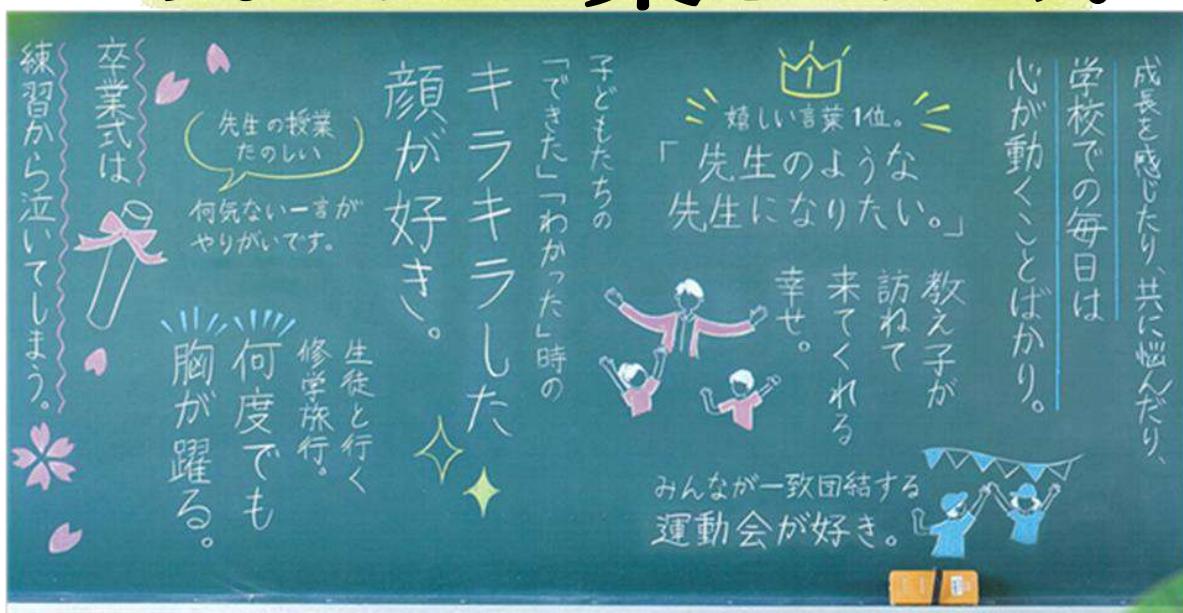


千葉の先生になって あなたらしい葉をひらこう。



先生だって間違うこともあるし、失敗する。



弱い部分もあるし、苦手なこともある。



自分をありのままに表現することは大切なこと。

千の葉は多様性の葉。



それぞれが自分らしく活躍できるように、

働き方を含めて教育現場を改善していきます。

教員採用情報サイト「千の葉の先生になる」→「ホームルーム」に登録



<https://chiba-sensei.com>

「ホームルーム」に登録していただいた方に、教員採用選考に関する情報や、臨時的任用教員等の登録説明会、相談会等イベント情報を継続的に発信します。

興味のある方は、ぜひ登録してみてください。

※PR動画やパンフレット等により、現場で活躍する教員の姿を御覧ください。

【お問い合わせ先】教育振興部教職員課任用室
電話 0120(23)1008

インデックス＆ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
千葉の先生になってあなたらしい葉をひらこう。	1
インデックス＆ミニ・トピックス※	2
令和7年度第8回千葉県教育委員会会議(定例会)の内容について	3
令和7年度 研究発表会 千葉の子どもたちの未来のために ～変化する時代に求められる資質・能力の育成をめざして～	4
第83回全国小学生歯磨き大会参加小学校募集についてのご案内	5
子どもと親のサポートセンターの事業	
① 放課後メタバースちば～こさぽんの家～	6
② 相談窓口	
令和7年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展	7
令和7年度千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア	8
令和7年度若手指導者養成研修会	9
第63回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会	10
令和7年度千葉県中学生・高校生留学フェアを開催	11
千葉県高等学校工業教育研究会 令和7年度 第41回 総合技術コンクール	12
県内学校ミニ・ニュース(野田市立北部中学校)	13
県内学級担任紹介(野田市立北部中学校)	14
イベント情報(生涯学習課・文化振興課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊
国や県からの情報	別冊

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

県教委ウェブサイトを使いややすくするためのアンケートにご協力ください。(←ここをクリック)

※今号のミニ・トピックスはお休みします。

令和7年度第8回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和7年11月18日（火） 議案及び報告は以下のとおりです。

«審議事項»

（議 案） 第53号議案	義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例の原案について
第54号議案	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の原案について
第55号議案	職員の懲戒処分について
第56号議案	職員の懲戒処分について
（報告議案） 第8号報告	教育委員会所管に係る令和7年度12月補正予算案について
第9号報告	契約の締結について
（報 告） 報 告 1	令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果の概要について
報 告 2	重要文化財の指定について（建造物）

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/iinkai/kekka/r7/071118iinkaikaigi8.html>（第8回結果）

（報告2）重要文化財の指定について（建造物）【概要】

国の文化審議会は、令和7年10月24日に文部科学大臣に対し、「大山寺 不動堂、宮殿」（鴨川市）について、重要文化財（建造物）として指定するよう答申しました。

今後、県としても大山寺の保存・活用に関して、助言・助成していきます。

1 名 称 大山寺 不動堂、宮殿（鴨川市）

2 概 要

大山寺は鴨川市の高蔵山山頂付近に所在する、真言宗智山派の寺院であり、神龜元年（724）に東大寺開祖の良弁僧正により開山されたと伝えられています。今回指定の対象となるのは、不動堂と宮殿です。

不動堂は、大山寺の本堂にあたり、現在の建物は、江戸時代後期の享和2年（1802）に再建されたものです。

宮殿は、不動堂の内陣に位置します。宮殿とは本尊が置かれる厨子を建物にしたもので、大山寺の宮殿は、不動堂よりも古い元禄12年（1699）に造営されたものであることがわかっています。



大山寺不動堂 正面



県立松戸向陽高等学校（福祉教養科）視察

11月26日（水）貞廣委員、永沢委員、櫻井委員、芦澤委員の4名が、県立松戸向陽高等学校の福祉教養科を視察しました。

平成23年に開校し、県内で唯一福祉の専門学科を持つ高校です。現在、各学年6クラスのうち、1クラスが福祉教養科となっており、今回は1・2年生の専門科目を中心に視察しました。



生活支援技術の授業参観の様子



入浴実習室の見学の様子



学校の概要説明を受けている様子

千葉県総合教育センター・千葉県子どもと親のサポートセンター

令和7年度 研究発表会

千葉の子どもたちの未来のために

～変化する時代に求められる資質・能力の育成をめざして～

対面

先着165名

2026

全体講演・研究発表

2.25 水

会場：千葉県総合教育センター 大ホール
※全体講演または研究発表のみの参加も可能

オンデマンド

2026

全体講演

3.10 火 ▶ 3.25 水

研究発表

2.26 木 ▶ 6.30 火

全体講演

演題「次期学習指導要領の改訂に向けて
～多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに～」

講師 文部科学省 初等中等教育局 主任視学官

田村 学 氏



研究発表

01

学力調査部

全国学力・学習状況調査の活用推進に向けて

02

特別支援教育部

特別支援教育における主体的・対話的で深い
学びを実現するためのICT機器の利活用に関する
研究～自立活動の視点に着目して～

03

子どもと親のサポートセンター

校内教育支援センター運営の手引き（試案）
作成について

04

カリキュラム開発部

児童に問題を発見・解決する力を育む探究的な
学習の推進に関する研究

05

カリキュラム開発部

幼児教育と小学校教育における架け橋プログラム
に関する研究

06

カリキュラム開発部

生きる力を育てる道徳科授業づくりに関する
研究

◆申込期間◆

令和8年1月23日(金)まで ※オンデマンドは令和8年6月30日(火)〆切

◆申込方法◆

下記リンクまたは二次元コードから御申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=50799

◆問合せ先◆

千葉県総合教育センター 〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13

☎ 043-276-1274 (担当部直通) ☎ sosecurri_kenkyu@mez.pref.chiba.lg.jp



～第83回全国小学生歯みがき大会参加小学校募集についてのご案内～

今回で第83回を迎える「全国小学生歯みがき大会」は、「歯と自分をみがこう」をテーマに開催されます。

大会では、学習指導要領に基づいた歯・口の健康づくりに関する教材が学校に送付され、クイズや実習を通して歯ぐきや歯の磨き方について楽しく学ぶことができます。

使用する教材（児童用ドリル、歯ブラシ、デンタルフロス等）は無償で提供されます。

大会期間	：令和8年年6月1日（月）～6月10日（水）
参加対象	：小学5年生（4年生、6年生でも参加可能）
大会内容	：事務局からお届けする学習内容を収録した動画の視聴 ※YouTube、DVDで視聴可能
参加費	：無料
申込方法	：WEB上のフォームに必要事項を入力（学校申込みのみ、個人不可） 【URL】 https://www.lion-dent-health.or.jp/event/hamigakitaikai83/
申込期間	：令和8年1月5日（月）～2月27日（金）

前回大会では、全国・海外から5,738校の小学校から参加申込がありました。歯磨き大会を通して、子どもたちの歯・口の健康づくりならびに、生きる力の育成を目指しています。



お問い合わせ先：教育振興部保健体育課保健班

おいでよ！ 放課後メタバースちば～こさぽんの家～



[何をするところ？]

3D 仮想空間(メタバース)で、様々な事情で学校に登校できない子どもたちが安心して過ごせる居場所です。マスコットキャラクター「こさぽん」と話をしたり、他の参加者やオンライン支援員とゲームをしたりして、自由に、自分らしく過ごし、他者とつながる空間です。

[対象]様々な事情で、学校に登校できない県内小学校4年生～6年生、中学生

[開室日]毎週火曜日・木曜日(祝日、長期休業期間中を除く)

[時間]15時～17時

[参加方法]参加するには「アカウント」が必要になります。現在、アカウント申請を受付けています。詳細は、ホームページをご参照ください。

※当センターホームページはこちら⇒<https://x.gd/31Crh>



SNS相談／オンライン相談 ご利用ください！

子育ての不安、不登校、学校生活、進路など、教育に関するお悩みに専門カウンセラーが応えます。児童生徒本人のほか、保護者や教職員も利用できます。

◆SNS相談(LINEアプリを活用)

◇対象 小学校4年生～高校生まで／18歳以下の若者

◇実施日 毎週火曜日・木曜日・日曜日 18時～22時

※令和8年1月4日(日)～12日(月)は毎日相談を実施します。

◇相談方法 右の二次元コードでLINEアプリを読み取り、友だち追加してメッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。



◆ワンストップ・オンライン相談(Zoomアプリを活用)

◇対象 児童・生徒／保護者／18歳以下の若者／教職員

◇実施日 月曜日～金曜日 9時～17時まで

1回40分、1日7コマ Zoomを利用

◇申請手順 右の二次元コードから予約(1か月前からWeb予約受付可)

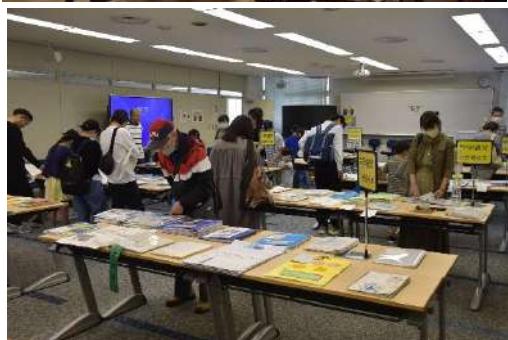
◇ホームページのURL：https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online



ワンストップ・オンライン相談
二次元コード

令和7年度千葉県児童生徒・教職員 科学作品展を開催しました

科学の魅力が集結!全県から集まった児童生徒と教職員の作品や論文を一般公開しました!



10月18日(土)・19日(日)に全県から出品された科学論文や科学工夫作品、教職員による自作教具、計682点を展示する一般公開を開催しました。2日間にわたり、延べ2,006名の方々に御来場いただき、科学の魅力を共有する場となりました。

来場者は出品論文を熱心に読み込んだり、工夫作品の二次元コードをスキャンして紹介動画を鑑賞したりするなど、科学の楽しさを満喫。「すごい!」と声を上げる姿も見られました。

今後も科学の魅力を発信してまいりますので、ぜひ御期待ください。



一般公開に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

輝く成果を讃える表彰式を開催しました!

11月7日(金)に科学作品展で特別賞、優秀賞を受賞した児童生徒・教職員を対象に表彰式を行いました。参加者は緊張しつつも、賞状やトロフィー、盾を受け取る際には晴れやかな笑顔を見せっていました。

審査員長からは「作品づくりそのものを楽しいと思えることの大切さ」等について講評があり、参加者にとって今後の励みとなる言葉が贈されました。受賞作品の中には全国展への出品が決定しているものもあり、さらなる活躍が期待されます。

次年度も多くの方々に挑戦の場を提供できる科学作品展を目指します。



上の二次元コードを読み取ると「受賞者一覧」を見ることができます。

<問合せ先>

千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部科学技術教育班
(千葉県児童生徒・教職員科学作品展実行委員会事務局)
Tel:043-276-1184



令和7年度 千葉県高等学校産業教育フェア・ 千葉県特別支援学校ものづくりフェア

を開催しました！

10月19日(日)に、イオンモール幕張新都心で「千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア」を開催しました。

本フェアは、県内の職業系の専門学科・コースが設置された高校や特別支援学校高等部が、日頃の学びを楽しく分かりやすく県民の皆様に紹介するイベントです。

当日は、生徒による、農作物や加工品の販売、ファッショショニー、各種体験コーナーなどを通じて、多くの方に産業教育や特別支援教育の魅力に触れていただきました。

農



総



商



農業科や総合学科の高校生が作った農作物の販売。
大人気で売り切れが続出しました！

地域と連携して開発したコラボ商品。
商業科の自信作です！

特



工



家



千葉聾学校生徒による
理容マッサージ体験。
気持ちよさそうです。

工業科生徒が鍛造で製作。
レベル高いです。

家庭科の生徒によるファッショショニー。
民族衣装を着用し、優雅さを表現して
います。

水



水産科で作った透明骨格標本。
不思議できれいです。

看



看護科のキッズ聴診体験。
どんな音が聴こえたかな？

福



福祉科の点字体験。
指先に集中して、
読み取ります。

情



情報科の作品展示。
プログラミングで
動きます！

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課キャリア教育推進室

令和7年度若手指導者養成研修会を開催

10月21日（火）に、県内中学校・高等学校の運動部の顧問や生徒を対象にして、令和7年度若手指導者養成研修会が開催されました。

研修会では、運動部活動におけるウェルビーイングの実現をテーマに講演と意見交換を行い、指導者・生徒双方が部活動の意義や課題を共有し、今後の改善策を考える機会になりました。

1 講 師

鈴木 寛 氏（東京大学 公共政策大学院 教授）



2 参加者

高等学校指導者 31校 41名

中学校指導者 16校 16名

高等学校生徒 21校 42名

3 内 容

(1) 講演「運動部活動におけるウェルビーイングの実現」

ウェルビーイングとは、「充実し、満足した、幸福な状態」を表す言葉です。スポーツ基本法改正により、ウェルビーイングはスポーツの意義としても重視されています。

講師の鈴木寛氏は、部活動が「板挟み」と「想定外」への対応力を育む場であり、これまでの大人主導から生徒主導へと転換する必要があること、そして、内発的動機付けに基づいて、好きなことを夢中で探究し続けることの重要性を強調しました。

(2) 研修「部活動におけるウェルビーイングを実現するために」

指導者と生徒が班ごとに部活動の課題を共有し、解決策を検討しました。

参加者は、双方の視点の理解を始め、部活動の意義や課題など多くの気づきを得て、すぐに実践したい取組として、対話を増やすことや生徒主体の活動推進などを挙げました。

4 主 催

千葉県教育委員会、千葉県競技力向上推進本部、

千葉県小中学校体育連盟、千葉県高等学校体育連盟



振返りアンケートでは、講演理解度平均 4.55、研修会満足度平均 4.71（いずれも 5 点満点）と高評価を得ました。

お問い合わせ先：教育振興部保健体育課高校総体準備班

第63回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会を開催

県内の定時制・通信制高等学校の生徒による文化の祭典！

10月25日（土）に、佐倉市教育委員会の協力のもと、佐倉ハーモニーホール及び佐倉市臼井公民館で、第63回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会が開催されました。

本大会では、生活体験発表の部、合唱などを発表する音楽の部、書道や写真、絵画などの作品展示の部の3部門において、日頃の学習や文化活動の成果が発表されました。

生活体験発表の部

生徒が高校生活の中で感じたこと、考えしたことなどを16校の学校代表者が想いを込めて発表しました。

金賞を受賞した県立船橋高校の加藤敦子さんは、11月16日（日）に、六本木ヒルズ ハリウッドプラザで行われた全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に出場しました。



金賞 県立船橋高校 加藤 敦子さん

音楽の部

生徒たちは、軽音楽や吹奏楽、合唱など、それぞれのパートで培った技術や協力し合う中で磨いてきた演奏、歌声を披露し、観客に感動や楽しさを届けました。



金賞：県立松戸南高校

作品展示の部

絵画や彫刻、書道、工芸品など、それぞれの分野で生徒たちが表現した個性あふれる作品が会場を彩り、訪れた人々を魅了しました。

各賞受賞者

書道の部 県立生浜高校

片岡 啓太さん（右端）

絵画の部 県立松戸南高校

加賀谷 佳奈見さん（右上）

工芸の部 県立館山総合高校

吉田 あんりさん（右下）

写真の部 県立千葉商業高校

藏野 煙莉さん（左端）

被服・手芸の部 あずさ第一高校

大久保 琴音さん（中央下）



絵画



書道



写真



工芸



被服・手芸

お問い合わせ先：教育振興部 学習指導課

令和7年度

千葉県中学生・高校生留学フェアを開催

県教育委員会は11月29日(土)、留学をはじめ、海外の大学や専門学校への進学など海外で学ぶことに関心を持つ生徒や保護者等を対象に「令和7年度千葉県中学生・高校生留学フェア」を開催しました。

当日は、文部科学省の官民協働海外留学創出プロジェクト「トビタテ！留学 JAPAN」の新・日本代表プログラム（留学支援事業）について、文科省職員による基調講演や実際に奨学金を活用して留学した3名の高校生による留学体験談のほか、留学を推進・支援する団体による説明会や個別相談会を開催しました。

基調講演

世界はきっと想像以上。

～トビタテ！留学 JAPAN と新・日本代表プログラム～



トビタテ！
留学 JAPAN
Challenge Connect Contribute



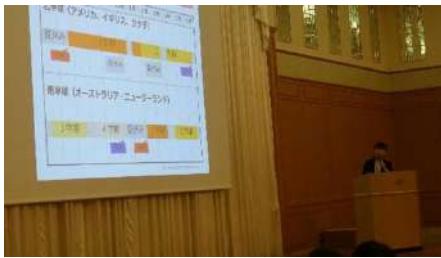
文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト担当の中山智雄氏による基調講演の様子

留学経験者による体験談



新・日本代表プログラムを活用して留学した高校生による留学体験談の様子

留学・海外進学説明会及び個別相談



留学を推進・支援する団体※による説明会及び個別相談会の様子

※(一財)海外留学推進協会・(公財)YFU 日本国際交流財団・(公財)AFS 日本協会・マレーシア政府観光局・株式会社アイエスエイにご参加いただきました。

11月29日（土）に、県立千葉工業高等学校を会場として、県内の工業系高等学校の代表生徒が10部門で専門の技術を競い合う「総合技術コンクール」を開催しました。

部門・競技内容

【溶接部門】

ガス溶接、アーク溶接により、鉄板を溶接します。



【機械設計製図部門】

機械部品について、正確な図面を作図します。



【電気工事部門】

コンセント等の器具の屋内配線工事を行います。



【電子回路工作部門】

LEDを点滅させる電子回路工作を行います。



【化学分析部門】

試料水中のカルシウム硬度・マグネシウム硬度を測定します。



【測量部門】

距離測定等を行い、得られた数値から計算書を作成します。



【建築設計製図部門】

戸建住宅を設計し、プレゼンテーションを行います。



【計算技術部門】

工業技術に関する専門的な計算を行います。



【ロボットコンテスト部門】

製作したロボットが独自の方法で風船を割ります。



【ライントレースカー部門】

製作した車体が白線を自動判別して走ります。



結果・表彰



優秀賞、優良賞、
敢闘賞の表彰も
ありました。

おめでとう！！

【溶接部門】

※（ ）は出身中学校
知事賞：京葉工業高校
教育長賞：京葉工業高校

【測量部門】

知事賞：京葉工業高校 大沼 蒼裕太
教育長賞：京葉工業高校（浦安・高洲中）

【機械設計製図部門】

知事賞：京葉工業高校
教育長賞：市川工業高校

【建築設計製図部門】

知事賞：市川工業高校 辻 隼斗
教育長賞：市川工業高校（船橋・海神中）

【電気工事部門】

知事賞：清水高校
教育長賞：清水高校

【計算技術部門】

知事賞：茂原樟陽高校 宮崎 涼
教育長賞：東総工業高校（茂原・東中）

【電子回路工作部門】

知事賞：市川工業高校
教育長賞：市川工業高校

【ロボットコンテスト部門】

知事賞：京葉工業高校 神鳥 健斗
教育長賞：京葉工業高校（四街道・四街道中）

【化学分析部門】

知事賞：茂原樟陽高校
教育長賞：茂原樟陽高校

【ライントレースカー部門】

知事賞：京葉工業高校 今村 岩
教育長賞：京葉工業高校（千葉・磯辺中）

お問い合わせ先：教育振興部学習指導課

県内学校ミニ・ニュース(野田市立北部中学校)

【学校教育目標】社会を生き抜くたくましい人間の育成

『安心・安全な学校づくり』

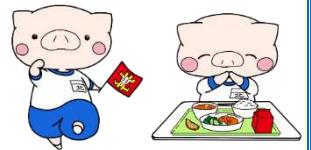
北部中のA B C (凡事徹底)
A :あたりまえのことを
B :ばかにしないで
C :ちゃんとやる

『学習意欲を引き出す指導』

北部中KKG (自立学習)
K :気づき
K :考え
G :学習する



校章



本校マスコットキャラクター
『北ブー(ほくぶー)』

【不登校児童生徒支援事業】

学級以外の居場所があり、「オープンルーム」と呼んでいます。自分自身を見つめ、自己効力感を得られるよう支援しています。

【小中連携】

8月に中学校区（中1校、小2校）の教職員が集い、小中連携研修を行いました。

研修では、不祥事根絶・働き方改革、教科部会（国語、算数、道徳、特別活動など）に分かれて情報共有と対話を行いました。

その後も、定期的に以下のような小中連携の取組を実践しています。

- ・交流授業参観・児童会生徒会合同あいさつ運動
- ・特別支援学級交流会

【生徒会から学校紹介】

本校は学級や学年を超えた強い繋がりが特徴です。行事や委員会等では全校で協力する姿が多く見られ一体感があります。

みんなのために協力したり誰かのために行動したりすることができる、それが「チーム北部」の強みです。

【人権教育】

トランスジェンダーを支援する西原さつきさんを講師に迎え、LGBTQについて全校生徒が学びました。

【北ブーサロン】

毎月1回、職員が講師を務め、サロン風の教職員研修会「北ブーサロン」を開催しています。

個々の強みを活かして、共に学ぶ教職員集団を目指し、風通しの良い職場づくりに取り組んでいます。



【次年度に向けて・ウェルビーイングデー（仮）】

生徒・職員・保護者の三方よしを目指すため、生徒の自己調整力と自己指導力の育成を柱に、時間にゆとりが生まれる取組を計画しています。

- ・生徒も職員も主体的に時間の有意義な使いについて考える習慣を培います。
- ・月1回午前日課（給食後下校）の日を設け、放課後は部活動・委員会・研修等は実施しません。

「自分の行動は自分で選ぶ」という自己指導力の第一歩を踏み出していくます。

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：野田市立北部中学校



担任名：前田 美波

教員経験：5年目

(令和7年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

「全員で」を合言葉に、ひとり一人を大切にできる

「温かい学級づくり」を心掛けています。

誰に対しても丁寧に接していくと少しづつ心が打ち解け、「誰一人取り残さない雰囲気」が学級に広がり、やりがいを感じます。

授業で心掛けていること

「楽しくなければ体育じゃない」。私が2年目のときに先輩から言われた言葉です。運動が苦手な生徒でも楽しいと思える授業・自発的に動きたくなる授業・できたと実感が持てる授業を心掛けています。

私の好きな「こ・と・ば」

「一生懸命だと知恵が出る」前向きな言葉を意識して生活するようにしています。うまくいかないことがあっても「何事も経験」と考えて前に進みます。

【温かい学級に向けて】

① 学級目標

クラスの全員の想いが込められた学級目標にするため、KJ法※を用いて決めました。それを学級に掲示し、定期的に活用しています。

② 生徒の温かい活動を記録

生徒の温かい活動を評価して「ありがとう」という掲示物を作成しています。

この掲示物を見た生徒が仲間のよさに気付いたり、仲間に認められるきっかけになったりしたらいいなと思っています。

③ 日々の会話

生徒同士で「会話・対話」ができるように問いかけています。現在、主体性を育む学級活動や議論する道徳を研究中です。

『KJ法を用いた学級目標』 ↓



↑『ありがとう』の掲示物

※アイデアをふせんに書き出し、それらをグループ化して整理・分析することで、新たな発見や問題解決の糸口を見つける手法